

平成22年度 鹿児島大学医学部医学科

第2年次後期学士編入学試験

学力試験 II

平成22年6月19日 午前11時40分～午後1時10分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題を開いてはいけません。
2. この問題は全部で8ページあります。
落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があれば、手をあげて監督者に知らせてください。
3. 受験番号は、必ず4枚の解答用紙のそれぞれに記入しなさい。
4. 4枚の解答用紙が渡されますが、第1問解答用紙（その1、その2）には第1問について、第2問解答用紙（その1、その2）には第2問について解答しなさい。
5. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。記入箇所を誤った解答については、その解答に限り無効とします。
6. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

第1問 次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

※著作権の関係で、本文は省略します。

(出典: Ann H. et al. On Mammography — More Agreement Than Disagreement. N Engl J Med 361(26):2499-2501, 2009 より一部抜粋)

《単語ノート》

mortality, 死亡率	disparity, 格差
optimal, 最善の、最適の	estrogen-receptor-negative, エストロゲン受容体陰性
substantive, 実質的な、かなりの	reconcile, 仲裁する、調整する
biennially, 2年に1度	deem, 考える、見なす
delineate, 描写する、線引きする	forgo, ~なしで済ませる、差し控える
false positive, 偽陽性	genomewide association study, ゲノムワイド関連研究
distress, 苦悩、災難、経済的困窮	lamentable, 悲しむべき、残念な
adverse, 反対する、不利な、逆の	reimbursement, 払い戻し、弁償
cross-study, 横断研究	conceptualize, 概念的に説明する
polarize, 分裂する、二分する、~を対立させる	
advocate, 擁護者、支持者	
travesty, 本来の意図が捻じ曲げられた状況、茶番	

問題1. 40～49歳において、マンモグラフィーを乳がん検診の標準的な方法から除外するように USPSTF が勧告した理由を150字以内でまとめなさい。

問題2. 50～74歳において、マンモグラフィーを毎年検査より隔年検査で行うように USPSTF が勧告した理由を120字以内でまとめなさい。

問題3. USPSTF の提言をどのように解釈し、患者さんに説明すればよいと記述されているか、300字以内でまとめなさい。

第2問 次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

※著作権の関係で、本文は省略します。

(出典:William L. Jungers, Barefoot running strikes back. Nature 463, 433-434
January 2010 より)

《単語ノート》

hominins, ヒト科の生物

bipedalism, 2足歩行

unshod, 靴を履かない

norm, 標準

anterior, 前方の

lateral, 側方の

pedal biomechanics, 足の生体力学

compliance, 弾性

blunt, 鈍らせる

jarring, 不快な

orthopaedic, 整形外科の

multifaceted, 多面的な

corroborates, 支持する

pendulum, 振り子

shank, すね

turf, とおり

translational, 並進運動の、直線運動の

calf, ふくらはぎ

longitudinal, 縦の

complement, 完全にする

endurance, 耐久性

genus Homo, ヒト属

australopithecine, アウストラロピテクス類の

make-over, 模様替え

Pliocene, 鮮新世

Pleistocene, 更新世

integral, 欠くことのできない

sprint, 全速力で走る、ダッシュする

blogosphere, ブログ界の

testimonials, 証明書

primacy, 首位、卓越

advocacy, 主張

evangelical, 福音の

rage, 熱望、熱狂、流行

plausible, もっともらしい

anecdote, 逸話

問題1. はだしでの走り方と靴を履いた時の走り方のそれぞれの違いとその理由を150字以内でまとめなさい。

問題2. Liebermanと仲間の研究者達が挙げているmid-foot striking, or MFSあるいはfore-foot striking, or FFSでの利点を150字以内でまとめなさい。

問題3. Pliocene/Pleistoceneの間に、Australopithecusに大きな骨格の変化が起こったが、どのような変化であったのか。その変化は、どのような歩行や走ることに適し、また、適していないのか、100字以内でまとめなさい。